

「現在の東京タワーはどれ？」の答え

- ① 昭和35(1960)年頃 ② 平成4(1992)年

東京タワーの移り変わり

- ・昭和42年に作業台が特別展望台になり、お客さんが入れるようになりました。
- ・昭和61年に赤白の塗りわけが11等分から7等分になりました。
- ・平成8年に大展望台の色が赤色から白色へ塗り替えられました。
- ・平成14年、特別展望台の上にデジタル放送用の筒型アンテナが設置されました。



「昭和30年代のくらしと現代のくらしの違い」の答え

- ①—C—**テレビ** 白黒放送が、カラー放送になりました。また、ブラウン管から液晶やプラズマといった、薄型のものになりました。
- ②—A—**暖房具** 暖房器具が体の一部を暖めるものから、部屋全体を暖めるエアコンに変わってきています。
- ③—F—**ラジオ** ラジオは、CDやMDプレーヤーと一緒に、小型化が進みました。
- ④—E—**電気釜** 現在の電気釜には保温機能が付いていますが、昭和30年代の電気釜にはありませんでした。
- ⑤—D—**冷蔵庫** 発売当初の電気冷蔵庫には、冷凍庫がありませんでした。現在では温度調節が可能で、省エネルギー化などが図られ性能が進歩しています。
- ⑥—B—**洗濯機** 昔の洗濯機は、手動絞りが付いていましたが、現在は、脱水機や乾燥機がついて、洋服の素材に合わせた洗い方もできるようになりました。



このほかにも、携帯電話やテレビゲーム、パソコン、ビデオやDVDなどは昭和30年代にはありませんでした。



開館時間
休館日
交通

港郷土資料館利用のご案内

午前9時～午後5時(さわれる展示室は火・水・金・土の午後0時30分～4時30分)
日曜日・祝日・毎月第3木曜日・年末年始・特別整理期間
JR「田町」駅下車徒歩5分
都営地下鉄三田線または浅草線「三田」駅下車(A3出口)徒歩2分
都営バス「田町駅前」停留所下車徒歩1分
港区コミュニティバス(ちいばす)「田町駅前」停留所下車徒歩1分
「田町駅西口」停留所下車徒歩3分



港区立 港郷土資料館へ行ってみよう! 第6号

平成20(2008)年12月12日発行

編集・発行 港区立港郷土資料館 〒108-0014 東京都港区芝5-28-4 ☎03(3452)4966

http://www.lib.city.minato.tokyo.jp/muse/

イラスト:横山真弥 デザイン:annes 印刷:(株)文洋社

港区は、環境に関する国際規格ISO14001の認証を取得しました。
港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この印刷物は、古紙を利用した再生紙を使用しています。



刊行物発行番号
20103-7541

港区立

港郷土資料館

行ってみよう!

第6号



東京タワーと昭和のくらし



古そうな写真だね。
道路を電車が走っている!
いつ頃撮られた写真かな?



東京タワーができた
50年前って
どんなくらしだったのかな?

昭和30年代。
東京タワーができたころの
三田通りの写真だそうよ。



港郷土資料館

東京タワー博士になろう!

東京タワーは昭和33(1958)年、港区芝公園 四丁目に建設されました。
ここでは、東京タワーの秘密にせまってみましょう。

東京タワーは世界一の高さ?

高さ333mの東京タワーは、ワイヤーなどの支え無しで建っている鉄塔の中では現在でも世界一の高さです。世界には500mを超えるコンクリートのビルもあるので、それらを含めると世界一ではありません。

展望台は2つある?

大展望台(150m)と特別展望台(250m)の2つがあります。建設当初は大展望台のみでした。現在、特別展望台がある場所に展望台は無く、点検作業をする作業員さんだけが登れる作業台しかありませんでした。

東京タワーはなぜ港区に?

東京タワーの建設候補地として、上野公園などもあげられていましたが、およそ4000トンの東京タワーを支えることができる硬い地盤は、上野公園で地下30m、芝公園では地下20m掘ると現れます。そこで、掘る量が少なくてすむ芝公園が敷地として選ばれました。

東京タワーの重さは?

東京タワーは鉄骨を継ぎ合わせてできています。その鉄骨の重さは、合計およそ4000t。小さい車がだいたい1t(1000kg)くらいなので、小さい車4000台分の重さです。

東京タワーの設計者は?

早稲田大学で建築を教えていた内藤多仲先生と設計会社の日建設計工務が行いました。内藤先生は、名古屋タワーや、大阪通天閣、札幌テレビ塔など、たくさんの塔の設計を手がけた人で、塔博士と呼ばれていました。

展望料はいくらだった?

現在の展望料は、大展望台までが820円、特別展望台まで行くにはさらに600円かかります。昭和33年の開業当時の展望料が大人120円でした。現在のお金に換算すると、およそ1200円くらいで、映画を見るよりちょっと安い値段です。

現在の東京タワーはどれ? 違いはどこかな? (答えは最後のページ)



東京タワーも時代とともに姿を変えているのです。どこが違うか答えられたら、君も博士だ!

これは難しい。

東京タワーができた頃のくらしの様子

昭和30年代のくらしをのぞいてみよう!



東京タワーができた

昭和30年代は、家で使う道具が

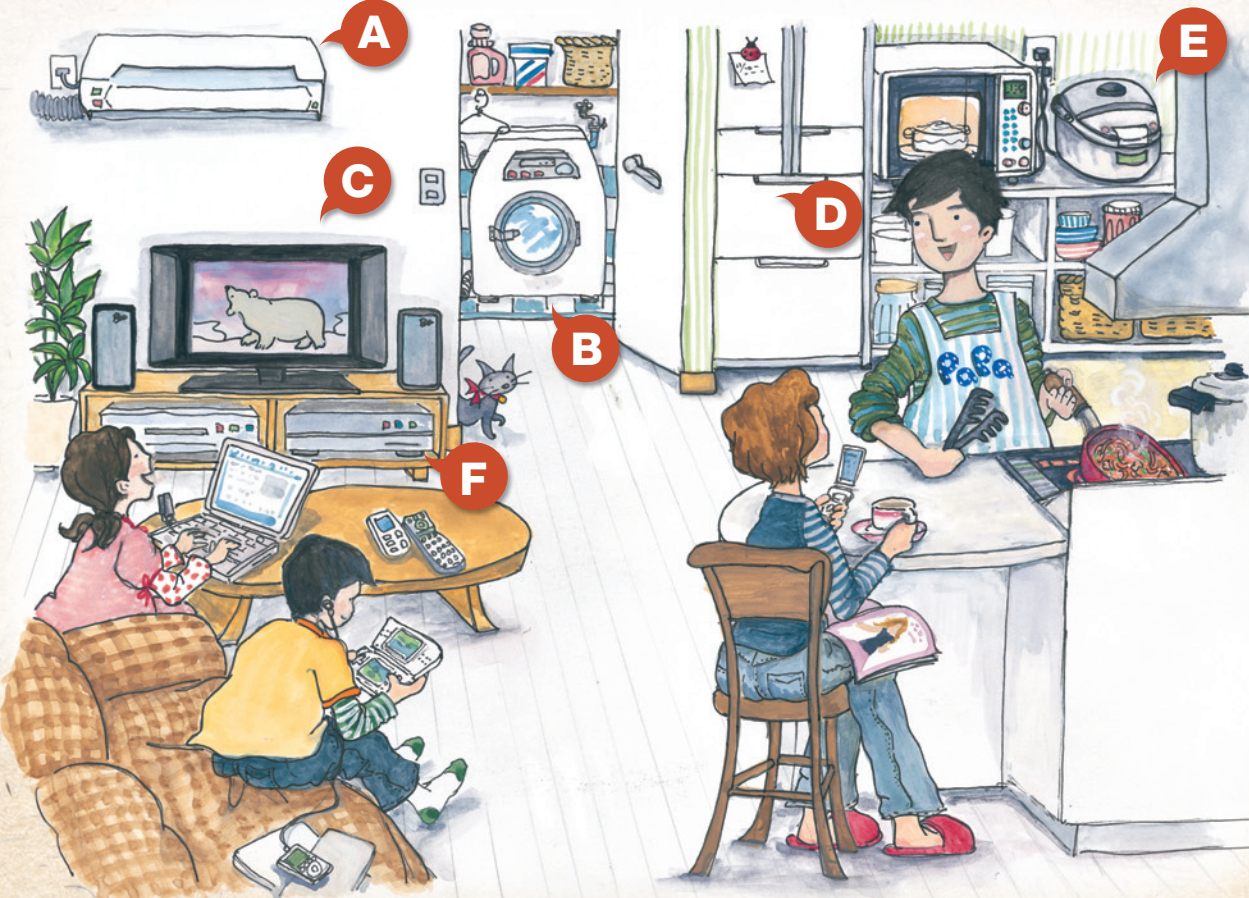
電気で動くものへと変わりはじめる時期でした。

人々は生活を便利にするために家電製品を求めるようになります。「三種の神器」と呼ばれた「テレビ・電気冷蔵庫・電気洗濯機」は、昭和30年代の人々にとって憧れの家電製品でした。

現代のくらしの様子

東京タワーができた頃のくらしと比べてどう変わったかな?

上の絵の数字と、下の絵のアルファベットをつなげてみよう。(答えは最後のページ)



さわれる展示室で、昭和30年代の家電製品を見てみよう!